

じどうしつだより No. 88 (2014. 7発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p>『せかいでいちばん手がかかるゾウ』 井の頭自然文化園 ぶん 北村直子 え 教育評論社 2014.4 1110830941</p>	<p>東京の井の頭自然文化園には「はな子」というゾウがいます。はな子は2歳のときにタイという国からやってきました。いまはな子は67歳。白っぽい鼻に深いしわ。日本で飼われているゾウの中ではいちばんのおばあさんゾウです。はな子は実は「せかいでいちばん手がかかるゾウ」と言われています。いったいなぜなのでしょうか？</p>
<p>『ネルソン・マンデラ』 カディール・ネルソン 作・絵 さくまゆみこ 訳 鈴木出版 2014.2 1110815892</p>	<p>2013年12月に亡くなった南アフリカの元大統領ネルソン・マンデラの生涯を描いた伝記絵本です。かつて南アフリカはアパルトヘイトという人種差別政策をとっていて、白人の支配の下で黒人はあらゆる権利を奪われていました。貧しい人々のために弁護士をめざしていたネルソンはやがてアパルトヘイトを無くすための運動に身を投じるようになります。その道のりは苦難の連続でしたが、それでも自由を求めて彼は戦い続けたのです。</p>
<p>『ベルナルさんのぼうし』 いまいあやの 作 BL出版 2014.2 1110806436</p>	<p>くまのベルナルさんはひとりぼっちでしたが、それが気楽でいいと思っていました。ただひとつの楽しみはお気に入りのぼうしをかぶって長い散歩に出ることでした。ところがある日、ベルナルさんがひるねをしている間に、一羽のキツツキがぼうしに穴をあけて巣を作っていました。ベルナルさんはキツツキを追い出そうとしますが、ほかのいろんな鳥たちまでやってきて巣を作り出します。すると不思議なことが起こりました。鳥がふえるたびにぼうしがどんどん高くなるのでいくのです！</p>
<p>『とけいのあおくん』 エリザベス・ロバーツ さく 灰島かり やく 殿内真帆 え 福音館書店 2014.3 1110818132</p>	<p>あおくんは、時計屋さんの棚に並んでいる青色の小さな目覚まし時計です。ある日、男の子とお母さんが時計屋さんにやって来ました。あおくんのすんだきれいなベルの音が気に入った二人は、パパの誕生日プレゼントにあおくんを買って帰ります。あおくんをもらったパパも大喜び。さっそく次の日の朝7時にベルをセットして眠りました。あおくん、初めてのお仕事はうまくできるのでしょうか。</p>
<p>『ジェドおじさんはとこやさん』 マーガリー・K. ミッチェル 作 ジェームズ・ランサム 絵 渋谷弘子 訳 汐文社 2014.3 1110821693</p>	<p>サラの親類のジェドおじさんはとこやさんです。いつか自分の店を持つという夢をサラに語っていました。5歳のある日サラは高熱を出しますが、手術の費用をお父さんは払うことができません。それを知ったジェドおじさんは店を持つためにためていたお金から手術の費用を出してくれました。「お金はまたためればいい。今はサラの命が大事だ」と言って。どんなことがあっても、おじさんは決して夢をあきらめず、またお金をためはじめます。</p>
<p>『ミスターワッフル！』 デイヴィッド・ウィーズナー 作 BL出版 2014.4 1110845004</p>	<p>黒猫のワッフルは飼い主がどんなおもちゃを与えても見向きもしません。そんなワッフルが家の中で見つけたのは、何と小さな宇宙船！ 中には緑色の肌をしたこれまた小さな宇宙人がいました。地球に到着した喜びもつかの間、宇宙船の窓の外には何やら大きな瞳が…ああ、宇宙船はワッフルの格好のおもちゃになってしまったのです。セリフはほとんどありませんが、マンガのようにコマを追っていくことで、ワッフルと宇宙人の戦い(?)が楽しめます。</p>